

2014年4月30日
東日本旅客鉄道株式会社

2014年度設備投資計画について

このたび、2014年度の設備投資計画を策定しましたので、お知らせいたします。

2012年10月に発表した「グループ経営構想V～限りなき前進～」に基づき、災害に強い鉄道を目指して大規模地震対策と沿岸被災線区の復旧に重点的に取り組むとともに、年度末に控えた北陸新幹線金沢開業と上野東京ライン開業に向けた準備を着実に進めてまいります。また、従来から取り組んできた安全性の向上やお客さま満足の向上、将来の成長のための設備投資についても引き続き推進いたします。

設備投資額（単体）は、2013年度実績比440億円増の4,550億円を計画しています。

主な設備投資の内容

- 首都直下等の地震に備え、高架橋柱、橋脚、盛土、切取、レンガアーチ高架橋、電化柱の耐震補強や駅・ホームの天井・壁落下防止対策等を重点的に進めます。
- 沿岸被災線区の復旧については、鉄道での復旧方針を決定した区間の工事を推進するとともに、その他の区間の復旧については、地域全体の復興や「まちづくり」の計画策定と一体となって、国・地方自治体と協議しながら着実に進めます。
- 北陸新幹線金沢開業に向け、E7系車両の追加投入などの諸準備を着実に進めます。
- 在来線では、上野東京ライン開業に向けた整備を推進するほか、通勤形電車E233系車両の横浜線・南武線への投入や、地方向け新型車両E129系の新潟地区への投入を進めます。
- 踏切事故対策、自然災害対策などの安全対策を着実に推進します。また、駅ホームの安全性を高めるために、山手線の御徒町駅、鶯谷駅など7駅においてホームドアを使用開始するほか、プラットホームへの点字ブロック内方線の整備を引き続き実施します。

- 鉄道輸送の安定性のさらなる向上をめざし、老朽設備の更新を着実に進めるほか、新幹線および首都圏における雪害対策を重点的に実施します。
- 「乗る」こと自体が目的となるような、新しいコンセプトの列車づくりを進めます。今年度は新幹線車両を使用したリゾートトレイン「とれいゆ」の運行を開始します。
- 「Tokyo Station City」として東京駅周辺で整備を進めている計画のうち、八重洲口駅前広場が完成します。
- 新宿駅、渋谷駅、千葉駅、仙台駅における大規模ターミナル駅開発の工事を着実に進めます。
- 中央ラインモール（武蔵境～東小金井間等）、桜木町駅高架下開発、武蔵浦和駅高架下開発を開業するほか、釜石駅ホテルや長野駅新駅ビルが完成します。
- 電力の安定供給確保をめざし、川崎火力発電所等の設備更新を進めます。また、スマートグリッド技術の導入を引き続き進めます。
- 沿線の当社用地に太陽光発電設備を整備します。
- 山手線内全36駅で構内共通ネットワークを整備し、公衆無線LANの拡充やスマートフォン向けアプリを通じたお客さまへの鉄道関連情報の提供を行います。

設備投資額（単体）

	2014年度計画	2013年度実績	2012年度実績	2011年度実績
交通サービス部門	4,030	3,723	3,581	2,639
生活サービス部門	520	385	463	435
合計	4,550	4,108	4,044	3,074
リース投資	175	153	94	42

2014年度 設備投資計画概要

主な件名

変わらぬ使命

○「究極の安全」に向けて ～災害に強い鉄道づくり～

- ・大規模地震対策
高架橋柱、橋脚、盛土、レンガアーチ高架橋、駅舎等の耐震補強
- 支社ビル等地震対策
- 新幹線AT保護線張替
- 海底地震計情報の導入に向けた環境整備

- ・山手線ホームドア整備
- ・踏切事故対策
- ・自然災害対策
- ・山形・秋田新幹線降雨防災対策
- ・常磐線利根川橋りょう取替



盛土耐震補強



橋脚耐震補強



山手線ホームドア



踏切支障報知装置



利根川橋りょう

○サービス品質の改革 ～鉄道ネットワークの拡充等～

- ・北陸新幹線金沢開業
- ・上野東京ライン開業
- ・横浜線用E233系車両投入
- ・南武線用E233系車両投入
- ・新潟地区用E129系車両投入
- ・分岐器不転換対策

- ・ATOS整備拡大・更新
- ・エレベーター設備整備
- ・駅トイレ整備
- ・駅待合室・ベビー休憩室整備
- ・異常時案内用ディスプレイ整備
- ・駅案内用サイン整備



北陸新幹線用E7系車両



新潟地区用E129系車両



駅トイレ



エレベーター



上野東京ライン整備

○地域との連携強化 ～震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化～

- ・沿岸被災線区の復旧
 気仙沼線BRTによる仮復旧(気仙沼駅構内乗り入れ)
 現位置復旧・ルート変更
- ・仙石線・東北本線接続線整備
- ・新幹線リゾートトレイン「とれいゆ」導入
- ・橋上駅舎・自由通路整備
- ・大規模ターミナル駅開発
 東京、新宿、渋谷、千葉、仙台、横浜、品川 ほか
- ・選ばれる沿線ブランドづくり
 桜木町駅高架下開発(2014年夏開業予定)
 武蔵浦和駅高架下開発(2014年冬開業予定)
 中央ラインモール(武蔵境～東小金井間等)
 子育て支援施設(亀戸 ほか)
- ・地方中核都市の活性化
 釜石駅ホテル、長野駅新駅ビル ほか



東京駅八重洲口駅前広場



長野駅新駅ビル



仙台駅自由通路(2016年春開業予定)



新幹線リゾートトレイン「とれいゆ」



中央ラインモール(イメージ)

無限の可能性の追求

○技術革新 ～エネルギー・環境戦略の構築、ICTの活用、高速化～

- ・太陽光発電設備新設
- ・「エコステ」モデル駅整備の推進
- ・スマートグリッド技術導入
- ・LED照明化
- ・山手線内駅構内共通ネットワーク整備
- ・スマートフォン向け情報配信「JR東日本アプリ」機能拡充
- ・CBTC・ATACS導入
- ・線路設備モニタリング装置技術開発

○新たな事業領域への挑戦 ～グローバル化～

- ・鉄道車両製造事業の拡大
- ・人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり
- ・女性社員設備整備
- ・研修センター・訓練センター設備整備
- ・現場第一線における技術開発



線路設備モニタリング装置



JR東日本アプリ



太陽光発電設備